

# た + す + と

2011年3月

第17号

市民活動や地域活動をしている方、  
これから活動したいと思っている方に  
役立つ情報を隔月で発信しています。

## ●もくじ●

- P 2・3 多賀城市住民自治基盤形成プロジェクト「こみプロ」学習交流会  
**人が育つとまちも育つ**
- P 4・5 広報・電話対応・会計・会議の準備全部一人でしていませんか？  
**誰も教えてくれなかった事務のいろは**
- P 5 たがサポブックレビュー  
**『つながる 信頼でつくる地域コミュニティ』**
- P 6 **団体の新パンフレットできました。**  
『たがサポ』とは？  
『たがサポ』の機能って？

## 今月のひとコマ



スタッフは三流占い師！？

→詳しくは右のコーナーへ

黙って座ればびたりと悩みが解決するというのは、どこかの三流占い師の台詞ですが、当センターの「相談」は、市民活動に取り組んでいる人、取り組もうとする人とスタッフが「互いに話し合う」場です。

当センターの利用方法やNPOの情報について知りたいというお問い合わせのほか、新しく団体を立ち上げたい、現在の活動を活発にするためのヒントを得たいなど、昨年度個人や団体から年間309件の相談が寄せられました。

これから活動を始めようとする時や実際に活動を続けていくと、さまざまな問題に直面します。そこで経験あるスタッフが相談者からお話をお聞きして、解決の参考になる情報を提供しながら1つ1つ活動のサポートをしています。

また、館内にNPO関連の本や資料、助成金情報など、思いを形にするためのツールを豊富に備えているのも当センターの強みです。開館時間内であればいつでも無料で相談することができます。お気軽にお声がけください。

平成22年度多賀城市住民自治基盤形成プロジェクト「こみプロ」学習交流会

# 人が育つとまちも育つ

- 日時:平成23年1月29日(土)午後1時30分～4時30分
- 会場:市民会館小ホール
- 参加者数:254名
- 主催:多賀城市
- 企画・実施:(財)東北活性化研究センター  
(特活)せんだい・みやぎNPOセンター

多賀城市では平成21年度から住民参加型の地域づくりをめざし「おらほのまち彩発見こみゆにていプロジェクト」(以下、こみプロ)を実施してきました。市内を4つの地区(西部、中央、東部、大代)に分け、自分の住むまちについて市民のみなさんが自由に楽しく意見を交わしてきました。

この2年間の取り組みの報告と成果の発表、地域づくりのコツやヒントを学ぶ学習交流会を開催しました。

## 第1部

### こみプロ学習交流会

～こみプロ参加者による報告会・意見交換会

### 「話し合いが育む地域のチカラ」

こみプロで大切にしたのは「話し合い」の文化を育てることでした。多賀城市地域経営アドバイザーの加藤哲夫さんは、こみプロ流話し合いのポイントを3つにまとめました。

#### 【こみプロ流話し合い3つのポイント】

- ◎具体的に何かをやることが「こみプロ」のゴールではない。やることを最初に決めてしまわずにまずは話し合おう。
- ◎話し合いを徹底的に行ううちに地域課題の解決のヒントがみえてくる。
- ◎幅広い年代やさまざまな職業など多様な参加者を確保して話し合いを行う。

今回の学習交流会では、これまでの2年間の取り組みの中でみつけた地域づくりのポイントを地区ごとに参加者が発表していきました。

各地区に共通していたのは、安心して発言することができたり、自分の言葉で発言することや他人の意見を聞くことができる、話し合いの場をみんなで作ることの大切さでした。年齢や役職にとらわれることなく発言ができ、自分の話を聞いてもらえることや、いろいろな人の思いを聞くことは楽しいと感じたそうです。

また、各地区とも地域の課題や疑問に思ったことは、参加者のみなさんで調べてみたそうです。関係する人に話を聞きにいったり、現地に足を運んだり、まずは課題に関する情報を集めたとのこと。メンバー一人一人の思

いだけではなく、誰にとってもわかりやすい根拠がプラスされると説得力が増し、多くの人に共感してもらうことへつながりました。



また、中央地区では思いを提案書というカタチにしたり、東部地区では若い世代に地域活動に参加してもらうため、回覧板に加えて携帯メールなど新しい情報発信の方法を導入してはどうかというアイデアが出たそうです。西部地区では話し合いだけではなく交流会を実施して楽しく参加できる工夫をしたり、大代地区では、大代を元気にするには「気づく・調べる・伝える・広げる・まとめる」の5つの力が必要だと発表しました。

地区ごとの気づきは、ほかの地区にも共通する地域づくりのポイントになりました。

各地区の発表を受けて、第2部で講師を務めた延藤安弘さんには、こみプロからみえてきた地域づくりのポイントを7つにまとめていただきました。

#### その1:「困ったことと夢のつづやきを重ねよう」

地区の課題とどんな地区にしたいかという夢を分かち合うこと。

#### その2:「みんなの熱意と思いを込めて活動計画を作ろう」

行政や専門家にすべてお任せするのではなく住民が作ること。

#### その3:「プロジェクトとはみんなでまいた種を花咲かせよう」

すなわちみんなで作った活動計画を実践していくこと。

#### その4:「論理力、行動力の前に気づきの力を促す」

一番大事なのは気づき。気づきの中から住民主体の創造的な活動が育っていく。そのあとに論理力や行動力が必要になってくる。

**その5:「参加者は地域づくりの薪 集まれば大きな炎に」**

一人では小さな力でも、参加者一人一人の力を尊重し集めれば大きな力になる。

**その6:「かい離している世代間を自分の言葉でつなぐ」**

本音を語り相手の話に耳を傾けているうちに、ゆるやかに世代間がつながっていく。

**その7:「ごう慢な“役職”よりやわらかな“役割”づくりで若者参加を促そう」**

若者の新しい発想を大事にすること。若者にはまちづくりはおもしろいと思えるような役割をつくる。

7つのポイントの頭文字をとると「こ・み・ぷ・ろ・さん・か・ごう＝こみプロ参加(讃歌)GO!」となります。延藤さんからこみプロのこれまでの活動をたたえ、今回生まれた活動の輪が広がることへの期待とエールが込められていました。

第2部

特別講演

**「人が育つとまちも育つ」**

講師：(特活)まちの縁側育くみ隊

代表理事 延藤安弘さん

<http://www.engawa.ne.jp/>

対話によって、住民主体の居住環境・まちづくりを楽しくすすめる方法を開拓・実践している延藤安弘さんを講師にお招きしました。延藤さんの講演は「幻燈会」と呼ばれ、スライド映写機を使いながらお話いただきました。まちの宝物を活かしたお祭り、団地の中庭の共用空間を中心にした子どもの成長など4つの事例を紹介していただきました。



4つの事例に共通しているのは、「人」・「もの」・「こと」が出会う場を大切にしているとい

うことです。出会うことで話し合いが生まれ、活動が始まっていくのです。こみプロもまさに「人」・「もの」・「こと」が出会い、話し合いを重ねてきたのではないのでしょうか。

最後にこれからのまちづくりを8つのキーワードにまとめていただきました。

**その1:「楽しいことを重ねながら筋道だったことを運ぶ」**

年齢の上の世代は先に筋道立てて考えてしまうが、若い人は楽しいことから始める。若者発想を最大限尊重すること。

**その2:「我流の思いと得意技をまわりにおすそわけする」**

まちづくりは勉強しないとできないのではなく、私の好きなことを趣味として閉じていれば趣味で終わるが、まわりにおすそわけをすることでまちの育くみにつながる。

**その3:「常識を超える想像力の翼を広げる」**

若い人たちはめっちゃおもしろい創造力をもって提案してくる。人の体内に宿っているイメージネーション(創造力)を喚起することをモットーにする。

**その4:「しっかりと自分の言葉で語り仲間の輪を広げる」**

**その5:「みんながちがう個性をもってお互いを補い触発しあう」**

**その6:「かたさを捨ててやわらかい遊び心を」**

若い人のやわらかい遊び心を上の世代は受入れること。

**その7:「つねにオリジナルな種まきのはじまりを心がける」**

毎回オリジナルになるようにプログラムを考えるとマンネリにならず参加者がおもしろがって寄ってくる。

**その8:「どうしようもないトラブルをエネルギーに変える」**

トラブルが新しい方向を見つけるチャンスになる。

頭文字をとると「た・が・じょう・し・みん・かつ・どう＝多賀城 市民活動」となります。こみプロから生まれた思いや活動をこれから育てていくために必要となるヒントと力をいただいた講演となりました。

たがサポでは、地域づくりの専門スタッフが地域づくりに関する相談に対応したり、多賀城を中心に県内・県外の活動事例や団体情報をそろえていて自由に見ることができるようになっています。こみプロで生まれた思いや活動の種をぜひたがサポにお持ちください。

広報・電話対応・会計・会議の準備  
全部一人でしていませんか？

## 『誰も教えてくれなかった 事務のいろは』

- 日時:平成22年12月7日(火)午後7時~9時
- 場所:市民活動サポートセンター101会議室
- 参加者数:8名
- 講師:(特活)せんだい・みやぎNPOセンター事務局次長  
伊藤浩子さん  
市民活動サポートセンターセンター長  
工藤寛之

今年度、「地域づくりパワーアップ講座」と題して市民活動団体や自治会・町内会などの活動に役立つ講座を計3回実施しました。

今回は最終回となる『誰も教えてくれなかった事務のいろは』の内容をご紹介します

団体が活動するために事務の作業は欠かせません。しかし、団体の中にはどうしても事業(活動)が優先され、事務局を十分に整備できないケースがあります。事務と事業は市民活動にとって両輪の輪です。より活発に活動を続けるためには、団体の基盤となる事務能力の強化が必要です。今回の講座では市民活動団体に必要な事務の基本と役割分担のコツについてお伝えしました。



講座内では、団体がより効果的に活動するために欠かせない事務局の「10」のポイントを伝えました。以下、自分の団体に照らし合わせてチェックしてみてください。

### ◎団体の内部

1. 団体内の連絡・調整(=健康管理)  
メンバーの役割やスケジュールの共有はできていますか?外部・内部とのスムーズな連絡体制づくり、工程確認や現状把握など事業を円滑に遂行するための体制を整えましょう。
2. 会議の実施と管理(=判断力・記憶力)  
団体の「意思決定」の場となる会議、事務局はその場と決定事項を「保証」します。司会や記録の担当を決めて円滑に進める仕組みをつくる必要があります。

### 3. 会計管理(=経済力・資金力)

会計は資金管理の生命線です。日常のお金の出入りを管理する管理会計、組織の経営や資金を管理し、お金の流れを広く情報公開する財務会計などがあります。大切なのは、会計を一人任せにせず複数名で確認できるルールを決めることです。

### 4. 庶務(=自己管理力)

庶務は事業を円滑に行うための潤滑油です。書類の作成と管理や消耗品・備品の管理などどれも細かいことですが、庶務を怠るとスムーズな活動ができません。

### 5. リスク管理(=道徳心・内部統治力)

法令遵守(法律や規則などのルールを守ること)にかかる行動規則や個人情報保護のルール、データ管理の内部規定をつくり、イベント等で得た個人情報を管理することも必要なことです。

### ◎団体の人材

### 6. 人材管理(=人材力)

人材を「人材」と捉え団体の目的・ミッションに共感する仲間を集めましょう。

### 7. 労務管理(=人材力・雇用力)

活動が成長すると、人の雇用が発生する場合があります。労働条件の整備や社会保険・雇用保険の手続き、健康診断の実施などを行い、働きやすい環境づくりをしていきましょう。

### ◎団体の外部に向けて

### 8. 広報(=集客力・発信力)

広報は活動への参加者や支援者を獲得するための仕事です。パンフレットやチラシを活用して、団体認知と信頼の向上、事業・サービスの認知向上、事業の参加者・新規支援者の獲得に努めましょう。

9. 情報公開(=信頼力)

団体が地域や社会から信頼されるために、情報公開は必要不可欠です。団体の目的や活動内容、成果などを支援者に正確に伝えるために、ニューズレター、事業報告書、収支決算書を活用して情報発信しましょう。

10. 営業(=アピール力・共感力)

第三者に働きかけ、理解者や支援者を増やし新たな事業を生み出していく行為が営業です。団体認知と信頼の向上、支援者の新規獲得、事業パートナーの新規獲得、事業機会の拡大、新たな資源の獲得が営業の主な役割となります。



「10」のポイントは整っていたでしょうか？ スタッフ内で事務力の強弱を確認し、足りない力を補強していきましょう。そのための相談にぜひたがさぽをご活用ください。

# たがサポブックレビュー

「たがサポ文庫」の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



## 『つながる 信頼でつくる地域コミュニティ』

編者：読売新聞生活情報部  
発行：全国コミュニティライフサポートセンター  
発行日：2008年9月26日



★E1まちづくりの棚にあります

地域にはたくさんのコミュニティが存在しています。町内会や自治会、サークル活動、ご近所の方々のお茶会。さまざまな形があるコミュニティですが、集まる目的や行っていることは違っても、さまざまな人が同じ空間で自由に有意義な時間を過ごします。このコミュニティを心地良い場所にしてくれるのが信頼という「つながり」です。この

「つながり」を広げていき、地域の助け合いを行って

る団体も数多くあります。地域がさまざまなところでつながると、顔の見え、安心して暮らせる地域になり、まちが元気になっていきます。

本書は、読売新聞の連載企画「つながる」の内容を一冊にまとめたものです。この中ではソーシャルキャピタル(社会関係資本)という言葉を使い、地域のコミュニティの大切さや、地域を元気にする力として、いくつかの成功事例を紹介しています。これを読めば地域の人とつながる仕組みづくりを学ぶことができます。

みなさんは地域とどのようにつながっていますか？ 信頼関係ができれば、きっと新たなまちの姿が見えてくるはずですよ。

■たがサポ文庫  
情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。

■図書販売コーナー

- NPO・市民活動団体が発行する図書(報告書、パンフレット等)を販売しています。詳しくは窓口までお問い合わせください。
- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらえる機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことによって、団体の活動を詳しく知ることができ、資金面での支援にもつながります。



お披露目!

## 団体の新パンフレット できました。

今年度実施した地域づくりパワーアップ講座『団体パンフレットをつくろう』は、広報の基礎やパンフレット作成のポイントをお伝えした上で、講座終了後も当センタースタッフや講師のメディアデザインのスタッフによる個別相談を実施し、パンフレット完成まで完全サポートするというものでした。

完成第1号となったのは、多賀城市精神障がい者家族会さざんか会です。

完成までのステップを簡単にご紹介します。

- ①掲載情報のリストアップ
- ②パンフレットの下書き
- ③完成! +α

①パンフレットのターゲットは自分たちと同じように精神障がいの者をもつ人たち。会



のことを知ってもらうために、必要な情報は何かをリストアップしました。会員からのメッセージも盛り込むことにし、会員同士で意見を出し合いました。

- ②手描きでラフ(下書き)を作ってみました。ラフをもとにパソコンが得意な人の協力を得ながら、パンフレットを作成しました。
- ③完成に合わせてパンフレットを置ける市内の施設情報もお知らせしました。会からのメッセージを必要としている人に届けるには、どこに置くのかも重要になります。

ほかにもスタッフのサポートを受けながらパンフレット作りを進めている団体があります。完成をお楽しみに。

「自分たちも団体のパンフレットを作りたい」など団体のPRに関することはたがサポまでご相談ください。

### ■『たがサポ』とは?

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

開館時間: 月～土曜日 午前9時から午後9時30分まで  
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで  
休館日: 毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
交通案内: JR仙石線多賀城駅より徒歩12分  
駐車場・駐輪場があります

### ■『たがサポ』の機能って?

- ①市民活動の場の提供
    - ・貸室(有料)  
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
    - ・交流サロン(予約不要・無料)  
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
    - ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
    - ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
    - ・事務用ブース(1,000円/月)
    - ・印刷作業室  
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)  
コピー機(10円/枚)
  - ②市民活動に関する情報の収集・提供
    - ・情報サロン  
市民活動に関するさまざまな情報があります。  
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、  
助成金情報、ボランティア情報、パソコン  
(作業・インターネット用/無料)
- ※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください!
- ③市民活動に係る人材の育成・支援
  - ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
  - ⑤市民活動に関する相談への対応

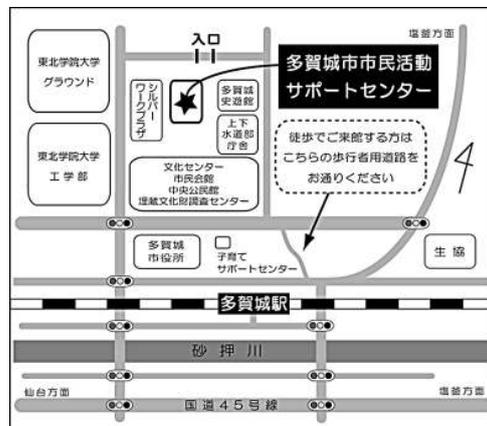


多賀城市市民活動サポートセンター  
公式ホームページ  
<http://www.tagasapo.org/>  
事務局スタッフブログ  
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

ぜひチェック  
してくださいね

### ■たがサポは皆さんに支えられています

- 自動販売機の設置  
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業: 宮城中央ヤクルト販売(株)
- 印刷作業室のコピー機  
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



□発行: 多賀城市市民活動サポートセンター  
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3  
TEL: 022-368-7745 FAX: 022-309-3706

□発行日: 2011年2月20日

□編集: 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター